

ヤノトラカミキリ

Xylotrechus yanoi Gressitt
コウチュウ目・カミキリムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

今回の調査では確認できなかった。産地が点在しており、生態の解明も必要とされることから注視を継続。

分布

本州、隠岐、四国、九州に分布。県内では敦賀市中池見のほか、若狭町遊子、高浜町音海での記録がある。

種の特徴

体長 15～19 mm。前胸背板は前・後縁を除いて黒。正中部後方はやや隆起して後縁に急に傾斜する。上翅は黒で中央後方の黄帯は鮮やか。基部は全体が褐色がかかる。成虫は盛夏～晩夏に出現。エノキの衰弱木や立枯れに集まる。寄主植物はエノキ、タブ。

生息を脅かす要因

広葉樹林を生息場所としており、開発等に伴う広葉樹林の消失や、管理放棄による遷移の進行等が本種の生存にとって脅威となりうるが、生態情報が不足している。生態の解明を含め、調査の継続が必要である。

参考文献 福井県自然保護課 (2002)、日本鞘翅学会 (1984)

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○		○			○											

ヤツボシシロカミキリ

Olenecamptus octopustulatus (Motschulsky)
コウチュウ目・カミキリムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

今回の調査では確認できなかった。ブナ帯下部に生息することであり、嶺北を中心に新産地の発見が期待される。生態の解明も必要とされており、注視の継続が必要である。

分布

本州、対馬に分布。県内では旧今庄町湯尾と南条町杣山での記録があるのみ。

種の特徴

体長 8～12 mm。体は橙黄色で、上翅には 4 対の白色紋がある。成虫は 6～8 月に出現。成虫はズミの葉を食べ、幼虫はズミの枯死部あるいは衰弱部に穿孔する。

生息を脅かす要因

ブナ帯下部の植生の変化が生息環境を悪化させると推察されるが、県内の分布状況及び生態の解明が必要である。

参考文献 福井県自然保護課 (2002)、日本鞘翅学会 (1984)、大林・新里 (2007)

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
								○									

クロオビトゲムネカミキリ

Sciades fasciatus fasciatus (Matsushita)
コウチュウ目・カミキリムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

これまで県内では若狭町御神島で記録があるのみであったが、今回の調査で小浜市内で新たに生息地が見つかった。依然として県内の生息地情報が少なく、調査の継続が望まれる。

分布

本州、四国、九州、対馬、種子島、屋久島、トカラ列島（中ノ島）に分布。県内では従来、若狭町御神島での記録があるのみであったが、今回、小浜市久須夜ヶ岳でも確認された。

種の特徴

体長 4.1～7.7 mm。体は黒褐色で、灰白色の微毛で被われるが、背面では灰黄色と黒褐色の微毛によって複雑な斑紋を形成する。照葉樹林に生息し、成虫は 5～8 月に出現。寄主植物はカシ類、シイ類、タブノキ。

生息を脅かす要因

照葉樹林の伐採、開発等により生息環境が消失する。

参考文献 福井県自然保護課 (2002)、日本鞘翅学会 (1984)、大林・新里 (2007)

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○				○												